

小瀬川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～水の都ひろしまを守る流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：94%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



2市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



4施設

（令和2年度末時点）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 0箇所

（令和3年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 0箇所

（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 1河川

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 0団体

（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の実
効性の確保



避難確保
計画 洪水
101施設
土砂
89施設

（令和3年9月末時点）

個別避難計画 3市町村

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○砂防堰堤等の整備による土砂流出対策(広島県)

激甚化が懸念される土砂災害から県民の命と暮らしを守るため、住宅密集地や災害時に重要な役割を担う防災拠点、インフラ・ライフラインの保全など効果的な事前防災対策を推進します。



谷郷川(大竹市)



清末地区(廿日市市)

○森林整備事業(造林事業)(広島県)

- 林業経営体や森林所有者等が行う森林整備に対する補助
- 事業主体：市町、林業経営体、森林所有者など
- 実施内容：植栽、下刈り、保育間伐、(搬出)間伐など



適切な手入れ(間伐)
実施前の人工林



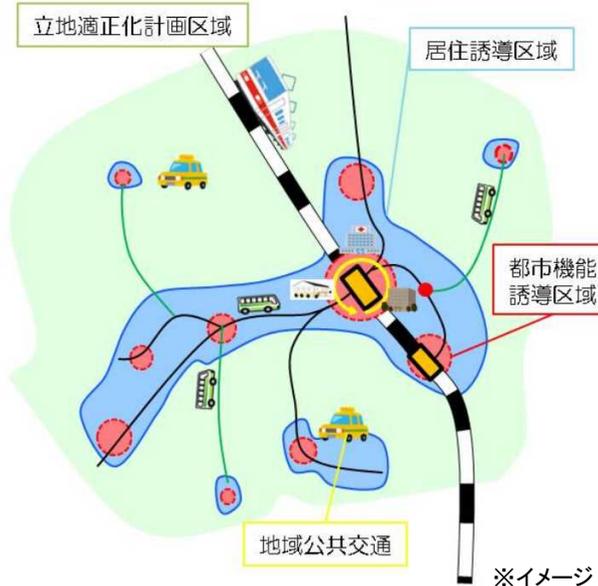
間伐が実施された人工林

被害対象を減少させるための対策

○立地適正化計画の作成(大竹市)

急激な人口減少や少子高齢化が進行する現代社会において、生活の利便性や活動の機能性が確保された都市を維持するためには、居住を支える都市機能(医療・福祉・商業等)を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通沿線等に居住を誘導して一定の人口密度を維持する都市構造のコンパクト化が重要となります。

大竹市において、居住および都市機能の立地の適正化を図り、持続可能で安全・安心な都市の形成をめざすため、令和2年度より大竹市立地適正化計画の策定を進めております。



※イメージ

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

○多機関連携型タイムラインの推進 (国土交通省、広島県、山口県、大竹市、岩国市、和木町)

洪水、高潮、土砂災害のハザード別のステージ毎に関係機関がとるべき項目がわかるようタイムラインを作成しました。令和元年度から試行運用を実施し、毎年、出水後に運用実績に基づき振り返り、課題があれば改善を行っています。



○水防活動の効率化及び水防体制の強化 (山口県、岩国市、和木町)

毎年、出水期前に職員、地域住民(自主防災組織等)等を対象とした水防訓練を実施しています。

